

体育館に響いた校歌

校長 畠山 真

暑い、暑い夏休みが終わりました。今年の夏休みは本当に厳しい暑さが続き、やっとお盆の頃から秋の気配を感じさせるようになってきました。

子どもたちは、この夏休みに普段経験できないことを体験したことと思います。ぜひ、夏休みに経験したことをこれからの生活に生かしてほしいと思います。私も休み中に、長野県にある槍ヶ岳に登ってきました。頂上から見た景色は、とてもすばらしく、朝焼けに輝く槍の穂は、今でも目に焼き付いています。

テレビでは、連日 100 回を記念しての高校野球が行われ、選手は必死になりひたむきなプレーが見ている人の共感を呼びました。私も高校まで野球をやっていましたが、負けた悔しさや厳しい練習に耐えて三年間を過ごした経験が、今の自分の人生に繋がっていると思います。結果はどうあれ、全力を尽くして甲子園を去って行った球児たちに、心より大きな拍手をおくりたいと思います。

7月31日には、新石川小学校で青葉区水泳記録会があり、本校の子どもたちは一人ひとりが一生懸命に泳ぎ、5名の選手が市の水泳大会に選ばれました。4年生以上の選手たちは全力で泳ぎ、ほかの人たちの応援もしっかりと行いすばらしい態度でした。美小の子どもたちの底力を感じました。

さて、夏休みに入ってすぐに体育館の工事が始まりました。工事の様子を見ていると、毎日のように床がはがされていったり、ピアノやイス、校歌や横浜市歌の卒業制作等がプレハブに移動されて納められたりして、体育館の様子が変わっていくのがよく分かりました。

美小は、今年度で 50 周年を迎えました。その年に体育館が工事に入るのも何かの縁かと思います。本校の体育館は、1975 年(昭和 50 年)に完成しています。それから 43 年が経ち、今の体育館で多くの卒業生が卒業証書を手にして巣立っていきました。卒業式、入学式、全校朝会等様々な行事を体育館で実施してきました。もちろん体育の授業でもマットや跳び箱運動、バスケットボールなども行ってきました。

そんな中、7月20日に今の体育館では最後の1学期終業式が行われました。式が進み、最後の方で横浜市歌と校歌を体育館に全校の声を響かせてくれました。その時に、校歌が途中から二部合唱に変わりました。とってもきれいな歌声が体育館中に響き渡りました。5・6年生が教師の指導のもと、最後となる体育館でしっかりと歌おうと一生懸命に練習していたようです。この体育館で子どもたちの校歌を聴くのがこれが最後かと思うと胸が熱くなりました。今までお世話になった体育館に精いっぱい之歌を届けようとする全校児童の思いが伝わってきました。

今までの体育館とお別れをするのは残念ですが、3月に生まれ変わった体育館で子どもたちの校歌を聴くのが今からとても楽しみです。